



キラキラした
お芝居の世界に
憧れていた



それで沢山の人に
注目されて――



自分じゃない
誰かに
なりきって

歌って演じて



メイクをして
衣装を着て



俺もいつか
こんな舞台に
立つことが
出来たら――





田舎から
夢を追いかけて
上京してきた…

いわゆる
そつという族である

諏訪さん、コーヒー
出来るまで時間
掛かりそうです
すみません うーい

えつまじか

大変お待たせ
しましたご注文の
Wビッグバーガー
セット2つとー

遅いよキミ

申し訳
ございません



それと
コーヒーのほうですが
もう少し時間が
掛かりまして…

丁度
機持のメンテナンスが…

ああ!?
メンテナンス!?
なんで今…?

まあまあ

落ち着けよ
ゴトー

彼はこうやって
謝ってるではないか

この者が失礼な
態度を…
申し訳ない

ミスター

…いえ



キミの名は…
スワ? くん…?



なんだ
この男…



—あ…

めっちゃ
キラキラしてる…

ギョッ



僕の名前は
「アゼル」だよ



よかったら
僕と連絡先
交換しないかい?

なんほ



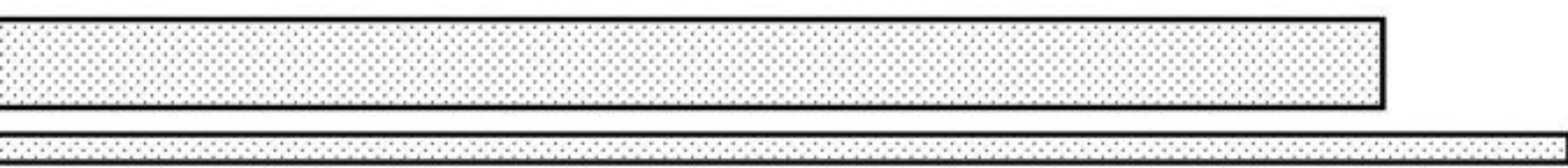


うわああああああ

チュ♡

う…

アゼル…!!



今日は…
いつもより
疲れた…

はあ…

なんだったんだ
あの外国人…

諏訪さん
お疲れ様です…

このあと
居酒屋のほうの
バイトですか？

ああ、
まあね

頑張りますね…

……



俺の人生、
こんなはずでは
なかった…

中学の頃
授業の一環として
観た舞台に
衝撃を受けた

なんて華やかな
世界なんだ



今や詳細は
思い出せないが…



男女が優雅に
踊るあのシーンは
ずっと脳に
焼き付いている—

いつか自分も
同じように舞台に
立てたら…と
憧れを抱き

高校、大学と
クラブは演劇部



舞台役者に
なることを夢みて
これまで生きてきた

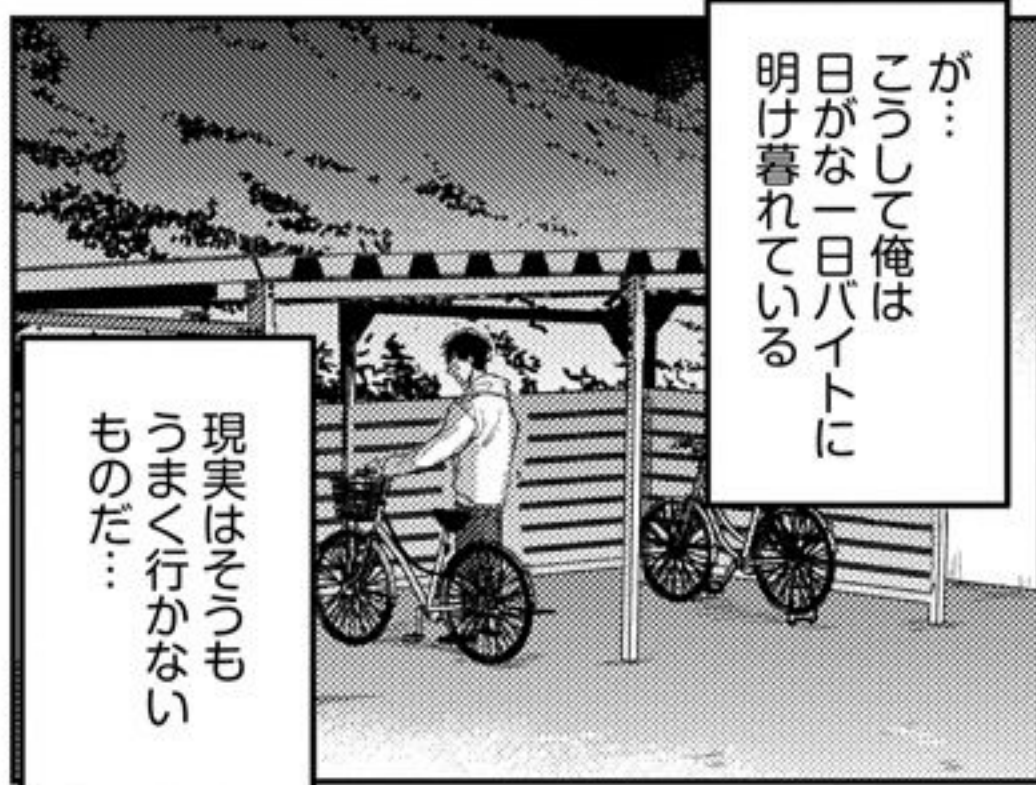
ストレッチ

東京の大学を
卒業し

小さいけど運よく
劇団に所属する
ことは出来た



が…
こうして俺は
日がな一日バイトに
明け暮れている



現実はずうも
うまく行かない
ものだ…





昼間 連絡先聞いても
仕事中だからと
教えてくれな
かったから…

仕事終わるの
待ってたんだ

ストーカー
ですか?!

え、酷いなあ
こんなイケメンな
ストーカー居る?



実をいうと、キミに
一目惚れしたんだ…

!?



スズ…

ヒクッ

ひっ

腰…?



このさらさらした
柔らかい黒髪と

切れ長で大きい
黒曜石のような瞳…

は…?

日焼けを知らない
その雪のように
しっとりした肌…

一目惚れ…?

痩せ型に見えるが
しっかり筋肉がついた
しなやかなボディ—